

2017年11月16日のガイドラインの小訂正の記録

2017年5月20日に第一回の会議を行った統合失調症薬物治療ガイドラインの当事者、当事者家族、メディカル・スタッフ用の簡略版の作成作業中に、いくつか表現や内容の中で修正すべき点が見つかったため、以下のように小改訂を行った。

2017年9月4日

修正案が石郷岡議長に提出された。

2017年9月6日

修正案が、タスクフォース委員全員に提示され、メール審議が行われた。

2017年10月20日

メール審議の結果を踏まえ、修正案を公表することが石郷岡議長により決定された。

2017年11月17日

理事会審議にて承認された

2017年11月22日

ホームページで公開された。

【主な修正点】

CQ1-2

ブロナンセリン論文を引用しなくなったことによる齟齬が残存しており、それを修正すると推奨の最後のまとめの前の部分が、その前のそれぞれの薬の内容と同じになってしまうため、削除した。

CQ2-2

ゾテピンは比較的錐体外路症状の発現が少ない可能性が報告されているというのは、プラセボ対照論文ではないため削除した。

CQ3-2

治療継続や副作用に関して、SGAsが優れているというわけではないことがわかったため、修正した。

CQ3-3

服薬できている患者が多いことを服薬アドヒアランスが担保されていると用語の誤りがあったので修正した

CQ5-6

抗ヒスタミン薬（プロメタジン）が急性ジストニアの予防に有効としているものは、単純な記載ミスであることがわかり、削除した。